

中世鎌倉を知るための必備の書
武家の都・鎌倉で活動した
鎌倉時代の僧侶949名の経歴を知る人名事典

か ま く ら そ う れ き じ て ん
鎌倉僧歴事典

永井 晋 編
(関東学院大学客員教授)

2020年5月25日刊行 定価(本体12,000円+税)
A5判・上製・カバー装・344頁 ISBN978-4-8406-2038-3 C3021 ¥12000E

①中世鎌倉を理解する必備の書

武家の都・鎌倉で活動した鎌倉時代の僧侶949名の経歴を知る人名事典。中世鎌倉を本当に理解するうえで必備の書。

②出典を明示

事典の記載は、僧侶それぞれについて生没年、家族、法流、本文、寺院、通称の順に記載。再検証ができるように、引用史料の出典を掲げた。

③解説・索引を完備

本書を縦横無尽に使いこなすために、総説、将軍家御願寺補任、血脈・俗縁、索引(寺社名、館名・坊名、所領、人名、僧侶、師弟、法会・修法)を完備した。

④鎌倉顕密僧を知る入門ガイドも

鎌倉顕密僧の基本的な知識が得られる入門ガイド「鎌倉顕密僧の基礎知識」も掲載。



コラムと試し読み

著者永井晋先生の書き下ろしコラム「鎌倉仏教史の空白を埋める事典」をウェブ公開。本事典の画像も試し読みできます。

<https://company.books-yagi.co.jp/archives/6572>



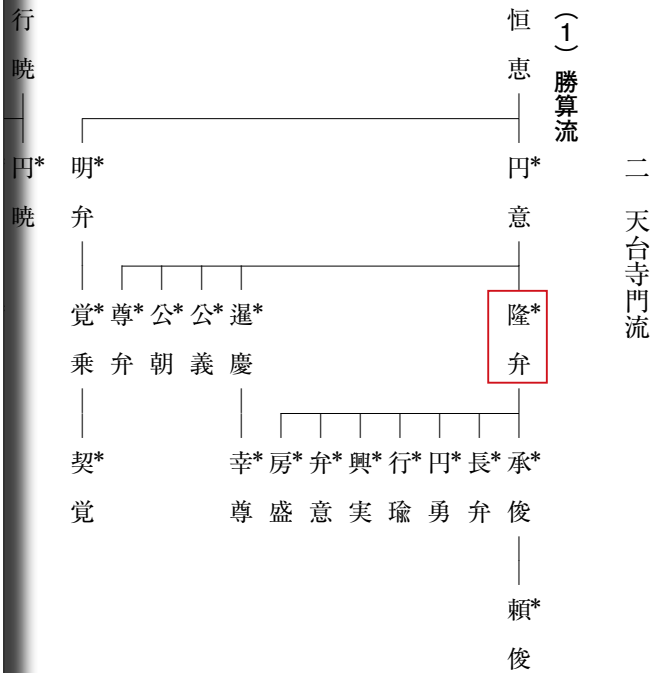
八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

Tel:03-3291-2961 / fax:03-3291-6300

pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

豊富な附録：師弟関係を表す血脈



に補任された(証・証年)。通称は、中納言・仏乘院。
 隆忍 ? | 元亨三年(一一三三)。元亨三年三月五日、
 入滅(常)。通称は、静俊坊。
 隆範 生没年・家族未詳。天台寺門流。鶴岡永嚴坊供僧
 を勤めた(諸・供)。通称は、民部卿。
 隆弁(光覚) 承元二年(一一〇八) | 弘安六年(一一二八
 三)。父大納言藤原隆房(三・尊・寺・灯・鶴)、母中
 納言藤原光雅女(鶴・灯)。天台寺門流。文暦元年(一一
 二三四)三月六日、鎌倉に下着(吾)。嘉禎元年(一一
 三五)六月二十九日、明王院五大堂供養の職衆を勤め
 た。時に、阿闍梨(吾)。同二年六月二十八日、將軍
 御所で如意輪護摩を勤めた(吾)。同三年十一月二十
 八日、箱根御奉幣に供奉し、経供養導師を勤めた。時
 に、律師(吾)。暦仁元年(一一三八)正月二十八日、
 將軍九条頼経上洛に験者として供奉(吾)。同年五月
 三日、円意から園城寺藏林坊で伝法灌頂を受けた(三・
 寺・灯)。延応元年(一一三九)五月十二日、將軍家の
 発願により、久遠寿量院で行われた大般若経転読の導

師を勤めた。時に、僧都(吾)。仁治元年(一一四〇)
 正月十七日、七壇北斗法の脇壇を勤めた(吾)。同二
 年正月一日、將軍御所で琰摩天供を勤めた(吾)。同
 年十月十一日、御所御和歌会に参上(吾)。寛元元年
 (一一四三)六月二十日、去年皇子降誕加持賞により、
 法印に叙す(吾・寺)。同二年正月一日、將軍家御祈
 として久遠寿量院で如意輪法を勤めた(吾)。同年正
 月十六日、將軍家の嚴命により月蝕御祈を勤めるため、
 去る八日から明王院北斗堂に参籠した(吾)。同年三
 月十五日、將軍家若君病祈として御所で不動護摩を勤
 めた。「當時有験無双」と評価された(吾)。同年三月
 三十日、將軍家若君御不例滅氣のため、箱根山に参籠
 (吾)。同三年六月十四日、前將軍九条頼経御祈六字供
 を勤めた(吾)。同年六月二十七日、道慶が大阿闍梨
 を勤めた前將軍九条頼経御祈五壇法の大威徳明王壇を
 勤めた(阿)。同年七月十九日、幕府の依頼により六
 字供の導師を勤めた(吾)。同年七月二十四日、執権
 北条経時不例により、如意輪供の導師を勤めた。病氣

ご注文は下記にご記入の上、最寄りの書店か、または小社までお申し込み下さい。

申込書	永井 晋 編 / 八木書店刊		2020年5月25日刊行		取扱店 (番線印)
	鎌倉僧歴事典		[] 冊		
	ISBN978-4-8406-2038-3 C3021 ¥12000E 定価 (本体 12,000 円+税)				
	お名前 (ふりがな)		TEL		
ご住所 〒		FAX			
		E-MAIL			